

計画改訂（案）の変更箇所について （第4回会議（10月31日）との変更点）

赤字部分について、加除等更新いたしました。

1 P2 下段 【追記】

…田区子ども・子育て支援事業計画」の中間の見直しを行うことといたしました。

中間の見直しを行うにあたり、子ども・子育て支援ニーズ調査を実施しました。就学前の子どもをもつ保護者からは、教育・保育事業の更なるニーズがみられ、小学生の子どもをもつ保護者からは、児童館や放課後の学童クラブへのニーズの高まりがみられました。

の計画の中間の見直しでは…

2 P65 上段 【修正】

50 食育啓発・推進事業◎（保健計画課、向島保健センター、本所保健センター、子ども施設課）

事業概要	(省略)	
	実績（平成28年度）	事業目標
(省略) ・食育シンポジウム 参加者 260350人 (省略)		(省略)

3 P68 下段 【追記】

61 子どもの予防接種（保健予防課、向島保健センター、本所保健センター）

事業概要	(省略)	
	実績（平成28年度）	事業目標
(省略) ・水痘 4,504人 (省略)		ヒブ・肺炎球菌・B型肝炎・DT（二種混合）・不活化ポリオ・四種混合・BCG・MR（麻しん・風しん）・水痘・日本脳炎…

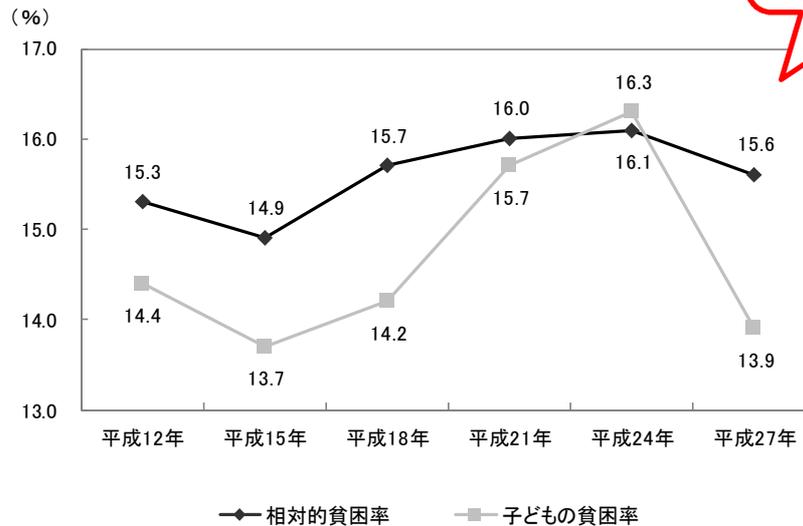
4 P97 【出典資料の更新に合わせ、データ等更新（平成25年から平成27年データへ）】

方向性（4） 子育て家庭への経済的な支援と生活が困窮している子どもとその家庭への支援

厚生労働省が発表した日本の相対的貧困率^{*}の推移によると、平成 27 年の子どもの貧困率は 15.6%、相対的貧困率は 13.9%となっています。数値は改善されているものの、貧困家庭では学習や楽しみの機会が制約され、自尊心や将来への希望がもてない子どもたちがいることに、違いはありません。

こうした状況を踏まえ、…

< 相対的貧困率の年次推移 >



グラフも更新しています。

資料：厚生労働省「平成 28 年 国民生活基礎調査の概況」

※相対的貧困率： …なお、平成 27 年の貧困線（等価…

（第 3 回会議時点では…）

「相対的貧困率と子どもの貧困率は平成 15 年以降増加傾向にあります。平成 24 年には子どもの貧困率が 16.3%と相対的貧困率の 16.1%を上回る状況となっており、状況は悪化しています。貧困家庭では、学習や楽しみの機会が制約され、自尊心や将来への希望がもてない子どもたちが増えていきました。」と記載していました。

5 P120 上段 【削除】

182 男女の機会均等の確保や待遇の改善、育児休業制度の取得促進にむけた啓発

（人権同和・男女共同参画課）

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・みみだ中小企業センターと連携して、国・都から提供された労働に関する各種資料を配布し、職場での男女平等を促進するための情報提供を行います。 ・男女共同参画推進のための情報誌を発行し、事業所等に配布しながら情報提供を行います。
------	--

以上